

調理師関係功労者の厚生労働大臣賞受賞報告 調理師の技術の発展・資質向上に貢献

12月5日（木） 市長室

調理師関係功労者の厚生労働大臣表彰を受けた南吉城調理師会に所属する金子春貴さんと玉腰正人さんが5日、都竹市長に受賞を報告しました。

この表彰は、調理師の組織活動の発展向上や調理技術の発展・資質向上に貢献された個人に授与されるもので、今年度は全国で120人が選ばれ岐阜県内では2人、11月26日に厚生労働省で表彰を受けました。

この日は、古川町大野町でとんかつ店「とんかつ弁慶」を営む金子さんと古川町荻之町で創作イタリアン・フレンチレストラン「タスパdeシャングリラ」を営む玉腰さんが市役所を訪れ、都竹市長に喜びを報告しました。



賞状を手にする金子さん（右）と玉腰さん（左）

飛騨 鮎飛定男さんによる工女さんなりきりツアー 飛騨の糸引き工女ゆかりの場所を巡る

12月1日（日） 円光寺・古川町市街地

飛騨の語り部の鮎飛定男さんが案内する「工女さんなりきりツアー」が1日、古川町で開かれ市民ら8人が参加しました。

このツアーは、古川町に残る飛騨の糸引き工女に縁のある場所を鮎飛さんと一緒に巡るツアーで、語り部として当時のようすを伝える鮎飛さんが市美術館の展示に合わせて企画しました。

ツアーでは、工女や検番の服装に扮した参加者らが、鮎飛さんから当時の工女のような生活などについて話を聞きながら、円光寺を発着点に三嶋和ろうそく店、野麦峠の碑や真宗寺などを訪ねました。



飛騨の糸引き工女について語る鮎飛さん

更ニプロファーマ飛騨工場がユースエール認定企業 に活力と魅力ある職場づくりを進めたい

12月5日（木） 市長室

ユースエール認定企業の認定を受けたニプロファーマ飛騨工場（株）が5日、市役所を訪れ、都竹市長に報告しました。

ユースエール認定（若者雇用促進法に基づく認定）制度は、厚生労働省が若者の雇用育成に積極的で若者の雇用管理の状況などが優秀な中小企業を認定するもので、医薬品製造業では東海地方で初です。

この日は、高山公共職業安定所の大家実所長、同社の竹内秀元代表取締役社長、同大久保昭憲工場長が市役所を訪れ、11月29日にハローワーク高山で認定通知書の交付を受けたことを報告しました。



認定証を手にする竹内社長

英 坂本さんが英語教材を寄贈 語に慣れ親しんでもらいたい

12月4日（水） 市長室

神岡町で移動スーパーを経営している坂本佳祐さん、坂本良威さんが4日、市役所を訪れ、子ども向けの英語教材を寄贈しました。

地元の子どもらに幼いころから英語に慣れ親しんでもらおうと毎年寄贈していただいています。

この日は、売り上げの1%と移動販売車に設置した募金箱に寄せられたお金、個人協賛者から寄せられた寄付金を活用して購入した、音のなる絵本など約70冊を都竹市長に手渡しました。

佳祐さんと良威さんは「絵本を通して英語に興味を持つきっかけ作りになれば」と話しました。



英語教材を手にする坂本さんら

飛 飛騨市ファンの集い in 大阪 飛騨市のファンが交流を深める

12月13日（金） cafe&dining ESTADIO梅田店

市の魅力発信とファン同士の交流を目的とした「飛騨市ファンの集いin大阪」が大阪市のcafe&dining ESTADIOで行われ、ファンクラブ会員ら40人が参加しました。

この日は、ファンクラブ会員さんや市に興味関心がある方が訪れ、飛騨のお酒や市の老舗旅館蕪水亭の北平嗣二さんが腕によりをかけて調理した薬草料理を食べながら、ファン同士の交流を深めました。

今回の集いでは、大阪出身の大上さんに市の法被を着て交流会の支援をしていただきました。本当にありがとうございました。



ファンの集いに参加した皆さん

受 全日本高校・大学生書道展で優秀賞を受賞 賞の喜びを市長に報告

12月5日（木） 市長室

第24回全日本高校・大学生書道展で、飛騨高山高校（岡本校舎）の書道部が団体の部で5位、また個人の部で飛騨市の生徒3人が優秀賞を受賞したとして5日、市役所を訪問し都竹市長に受賞を報告しました。

この日は、同校2年生の渡邊菜月さん（古川町）、1年生の坂下舞香さん（神岡町）、上窪千賀さん（古川町）が市長室を訪れ、都竹市長に受賞の喜びを報告しました。

渡邊さんは「来年は上の賞に入れるよう頑張りたい」、坂下さんは「毎日の練習を積み重ねて上位を目指したい」、上窪さんは「さらに技術面や気持ちの面を向上させて、大賞や展覧賞を目指して頑張りたい」と話しました。



賞状を手にする（右から）坂下さん、上窪さん、渡邊さん

ふ 神岡中学校でふるさと料理教室 ふるさとの食材を使って料理体験

12月19日（木） 神岡中学校

ふるさと料理教室が19日、神岡中学校で行われ同校3年生55人が地域の食材で料理体験をしました。

この授業は、ふるさとの食材を使った料理に親しみをもってもらい、郷土に伝わる財産を大切に、また食への関心をもってもらおうと同校が初めて企画されました。

この日は、神岡町の料理店「川甚亭」女将の岩垣章子さんを講師に招き、飛騨牛と豚肉の豆腐ハンバーグ、山之村の寒干し大根を使った麻婆大根、お店で使っている自家製味噌や地元野菜を使った味噌汁の3品を、岩垣さんのアドバイスを受けながら手際よく調理していました。



岩垣さんに教わりながら料理をする生徒ら

米 米・食味分析鑑定コンクール国際大会結果報告 コンで市内の農家6人が賞を受賞

12月11日（水） 市長室

千葉県木更津市で開催された第21回米・食味分析鑑定コンクール国際大会で金賞等を受賞した農家の皆さんが11日、市役所を訪れ、都竹市長に受賞の報告をしました。

この日は、各部門で金賞や特別優秀賞を受賞した、飛騨市うまいお米研究会に所属する（株）みつわ農園の永田政和さん、畠中望さん、森田大賀さん、（株）和仁農園の平田昌英さん、（有）エイドスタッフの田中一男さんと下稲越農業改良組合に所属する宮本善秋さんら6人が市役所に訪れ、受賞の喜びを都竹市長に報告しました。都竹市長は「今後も期待しています」と激励の言葉を贈り、飛騨の美味しいお米を広くアピールしていくと伝えました。



コンクールで金賞等を受賞した農家の皆さん



飛騨市

Facebook 公式アカウント

飛騨市役所

まちの話題に掲載しきれないイベントや写真は市の公式Facebookで配信。



登録有形文化財の大坪酒造店別邸 登録プレートの登録証伝達

12月25日（木） 神岡町 大坪酒造店別邸

今年9月に国登録有形文化財に登録された、神岡町の「大坪酒造店別邸」で25日、同店代表取締役の大坪和己さんに文化庁から記念のプレートが贈られました。

同別邸は大正前期の建築で、1929年の大火事「船津大火」の被害を免れ、建築当時のようすも残しており、お客を招くなど交流の場として今でも使用されています。また、平屋建てで主屋と上座敷、庭と庭が対角に配列されており、どの部屋からも園庭を眺めることができます。

この日は、沖畑教育長がプレートと登録証を大坪さんに伝達しました。大坪さんは「とても誇らしくうれしい。建物を残していく努力も報われました」と話しました。



プレートを手にする大坪さん

障がいのある方のために 神岡町の橋本克幸さんから50万円の寄附

12月19日（火） 市長室

神岡町の橋本克幸さん（橋本工業（株）会長）から市へ50万円の寄附をいただきました。

いただいた寄附金は、現在整備している神岡町山田地内の飛騨市多機能型障がい者支援施設の備品整備に充てさせていただきます。

この日は、橋本さんが市役所を訪問し、都竹市長に寄附金を手渡しました。橋本さんは「障がいのある方のために何か役に立ちたいと思い、寄附をさせていただきました」と話しました。

都竹市長は「大きなご寄附をいただき、本当にありがとうございました」と感謝を述べました。



都竹市長に寄附金を手渡す橋本さん

「岐阜県地域子ども支援賞」受賞報告 子どもたちのさまざまな活動に尽力

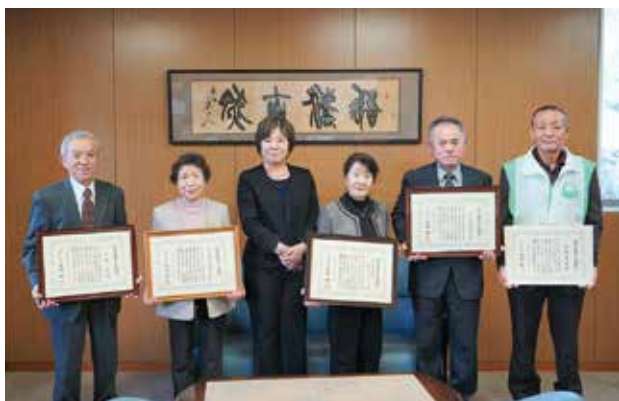
12月25日（水） 教育長室

県から「岐阜県地域子ども支援賞」を受賞した市民らが25日、受賞の喜びを沖畑教育長に報告しました。

この賞は、子どもたちが地域で行うさまざまな活動を一生懸命に支え、地域にも貢献している、団体・個人に対して知事から表彰されるものです。

この日は、市内の子どもの見守り活動や体験活動、指導などに取り組んでいる団体の代表と個人5人が教育長室を訪し、喜びを沖畑教育長に報告しました。

沖畑教育長は「子どもたちがさまざまな場で学びを深め、身につけていることを感じます。これからも長い活動をしていただきたいと思います」と話しました。



賞状を手にする皆さん

餅つきで楽しく交流 飛騨古城特別支援学校で餅つき交流会

12月20日（金） 飛騨古城特別支援学校

飛騨古城特別支援学校の生徒児童29人が殿町青龍会、青龍台青年部16人と餅つきや鏡餅づくり、花もちづくりで交流をしました。

この日は、準備された臼にふかしたもち米を入れると、みんなで「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声とともに児童生徒と一緒に餅つきを行いました。

餅つきが終わると、一人ひとりもちを手で丸くこね鏡餅を作ったり、紅白の細長いもちを、花もち飾り用の枝に丁寧に巻き付けて花もちを作りました。

児童生徒会長の宮前美咲さんは「みんなと一緒に花もちを作ることができて楽しかったです」と話しました。



力いっぱい餅をつく児童生徒ら